

利益相反に関する指針

基本指針の表明:

従業員およびこの指針の対象となる第三者は、3Mの事業活動や任務を遂行するうえで、その判断、客観性、会社に対する忠誠心に悪影響を及ぼすおそれのある利益相反とは無縁でなければなりません。従業員は、個人的利益が自らの業務上の判断に不適切な影響を及ぼすか、そのように見えるような状況避ける必要があります。こうした状況を、「利益相反」と呼びます。「個人的な利益により業務上の判断が左右される」という認識でさえ、3Mの信用と事業を傷つける可能性があります。従業員は、3Mでの職務以外に、合法的な財務的活動、慈善活動、その他の活動に参加することができますが、これら活動の結果、利益相反が実際に生じた場合や、生じる可能性があるか生じたものと認識される場合には、速やかにマネジメントに通知すると共に、定期的に最新の状況を報告しなければなりません。現地の方針・手続きによっては、利益相反を適時かつ完全に証明することを従業員に義務付ける場合があります。

目的:

個人的利益が業務上の判断に影響するか、影響しているように見える場合、当社の信用と事業が損なわれるおそれがあります。

この指針は世界の3M全従業員および3Mの業務を代行する者に一律に適用されます。第三者に行動規範指針が適用されるケースについては、コンプライアンス指針を参照してください。

その他のガイドライン:

- 政府関係者である友人、またはその他の個人的／業務上の関係を持つ従業員は、こうした関係により3Mでの自分の職務に利益相反が生じるか否かを慎重に検討しなければなりません。「政府関係者」には、政府職員、選挙の有無を問わず任命された政府公職者（政党・政党の高官、国立大学や医療プログラムで働く教授・医療専門家、および国有／国営企業の従業員等）、または国際公共組織（赤十字や国連等）などが含まれます。「政府関係者」に該当するか否かは判断し難い傾向があるため、従業員は質問がある場合、所属事業部門の担当法務、または3Mコンプライアンスおよび企業倫理部門に相談する必要があります。
- 3Mの従業員は、あらゆる社外活動、金銭上の利益、その他実際または潜在的な利益相反行為またはそのように認識されそうな関係を開示しなければなりません。開示相手は、直属の上司または人事部のいずれかとし、開示を行う3M関係者の職務や役職に応じて変化します。外部企業の役員または取締役の地位を受諾する前に、役員の承認を得なければなりません。
- マネジメントの承認は、継続的に見直されます。従業員はこの指針に従って過去に開示した活動に関する最新の状況を経営陣に報告しなければなりません。
- 従業員は、慈善団体、教育機関その他の非営利組織の理事に就任する前に、経営陣に通知する必要があります。従業員は、3Mボランティアマッチやその他の研修などのボランティア活動リソースへの架け橋となる3Mgivesに通知するよう推奨されます。

従業員は、この指針に基づき、以下の行為を避ける義務も負います。

- 3Mの利益とそぐわない社外の雇用機会を受諾すること。例えば、競合他社のための労務、3Mと競合する事業の起業等。
- 個人的関係と職務上の関係を混同すること。例えば、親族を従業員やベンダーとして雇用する、3Mに代わって親族の企業から財やサービスを購入する、通常であれば他社と競合する可能性のある条件で親族の企業に3Mの商品・サービスを販売する等。
- 客観性と判断力に影響しそうな贈答品、食事、接待を承諾すること。他者から贅沢なものとみなされそうな高価な食事や贈答品は断りましょう。
- 3M贈答、接待、旅費に関する指針に定める基準に合わない贈答品を受領すること。
- 当事者の一方が不正な利益、または優遇措置を享受／提供するような個人的な関係を3Mの他の従業員と結ぶこと。
- 職務上の責任や3Mの利益に相反するか相反するように見える行動または関係。
- 3Mの競合企業、サプライヤー、顧客に対して直接または間接的な持分を所有するか、これらの者と財務的関係を有すること（公開会社の少額の株式持分を除く）。
- 配偶者が親族が雇用される会社に関して、3Mの業務上の意思決定に参加すること。
- 3Mの直接的または間接的な競合会社、販売業者、サプライヤーまたは顧客に該当する他の雇用先で副業を持つこと。
- 3Mでの職務遂行に影響を及ぼす副業を持つこと、あるいはコンサルティング関係を結ぶこと。
- 非公開の3Mの情報を自分自身または他者の利益や優位のために使用すること。例えば、3Mが取得、売却または取引関係の構築や打ち切りに興味を示している企業の証券の売買など。

- 3Mが持分(公開企業の少額の株式持分を除く)を有する外部の事業機会への投資。
- サプライヤー、サービス提供者、顧客から、3M従業員の全員には提供されない個人的割引や他のメリットを受けること。
- 従業員の3Mでの職務に密接に関連するサービスの提供に対して個人的に謝礼を受け取ること。従業員は、大学での発表やシンポジウムなどの謝礼の受領について、直属上司の承認を得なければなりません。
- 次に掲げるような特定の他の従業員と恋愛関係を持つ。
 - 従業員同士が直接的な報告関係にある。
 - 従業員同士は直接的な報告関係にないが、恋愛関係によりいずれかの当事者の判断力や客観性を他の者が信頼できなくなる場合、または両当事者の関係により会社を当惑させる事態を引き起こす可能性がある場合。

注：一定の状況において、従業員同士の恋愛関係は3M尊重し合う職場に関する指針に基づきコンプライアンスの問題を引き起こす可能性があります。

罰則：

法令および3Mの行動規範に違反した場合、解雇を含む懲戒処分につながります。